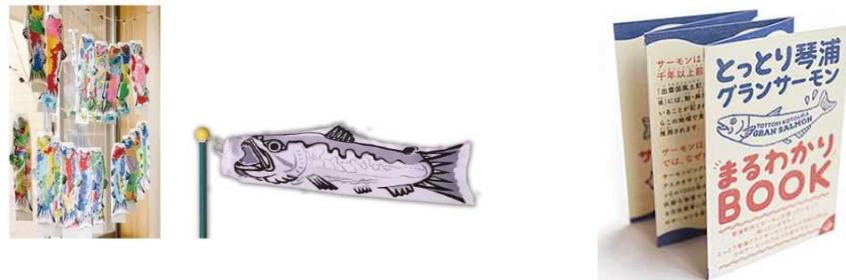


会計-款-項目-事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
<b>一般会計</b>				
<b>商工観光課</b>				
<b>2.総務費</b>				
<b>5.統計調査費</b>				
<b>1.統計調査費</b>				
基幹統計調査	1,142	1,137		事務費
<b>6.商工費</b>				
<b>1.商工費</b>				
<b>2.商工振興費</b>				
ギンザケ養殖新産業創出戦略事業	2,000	1,944	4-1	
商工業の振興	33,315	32,081	4-2	
未来を拓く☆ことうら農・漁のまちづくり(商工観光課)	6,974	6,915	4-3	
<b>3.観光費</b>				
一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業	7,320	7,261	4-4	
観光振興事業	18,635	17,811	4-5	
旧中井旅館管理運営事業	158	122	4-6	
船上山さくら祭り運営事業	1,557	1,557	4-7	
船上山管理運営	4,207	4,064	4-8	
地方創生推進交付金事業(観光)	4,984	4,984	4-9	
道の駅ポート赤碕運営管理	3,867	3,784	4-10	
道の駅琴の浦管理運営事業	34,869	33,441	4-11	
白鳳祭	3,720	3,719	4-12	
<b>4.地域振興費</b>				
きらりタウン・槻下団地定住促進事業	3,250	3,234	4-13	
コトウラ暮らしお試し滞在住宅事業	695	474	4-14	
移住定住促進事業	4,913	3,250	4-15	
交流ネットワーク事業	984	867	4-16	
公共交通対策事業	60,242	59,988	4-17	
国際交流の推進	3,132	3,005	4-18	
三本杉ふるさと分校管理	70	69	4-19	
地域活性化基金	12	11		事務費
日韓友好交流公園管理運営	5,632	5,369	4-20	
八橋ふれあいセンター管理	630	605	4-21	
<b>5.企業誘致推進費</b>				
企業誘致推進事業	200	111	4-22	

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1396	事業名	ギンザケ養殖新産業創出戦略事業			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	商工係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源		
平成29年度	2,000	1,944	972		500		472	地方創生推進交付金	
平成29年度(明許)									
経費の内訳	委託料 1,944千円								
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)		
新たな特産品の開発件数	件	目標	-	-	1	2			
		実績	-	-	18				
		達成率	-	-	1800%	0%	#DIV/0!		
海外の新規契約件数	件	目標	-	-	1	2			
		実績	-	-	0				
		達成率	-	-	0%	0%	#DIV/0!		
事業対象	町内の飲食店店舗等及び水産養殖業者								
事業目的	町内で養殖が始まったギンザケ「とっとり琴浦グランサーモン」のブランド化を目指し、新規メニューの開発や、販路拡大・PR事業に取り組みます。								
事業の主な実施状況	① 「とっとり琴浦グランサーモン」ブランド化推進事業(委託料 1,944千円) サーモンをブランド化するため、サーモンを使った新メニューの開発や町内外の方々に広く知っていただくため、各種PRグッズの製作を行いました。 ○サーモンと町内の農水産物を使用した新メニューの開発								
	 <p>新鮮なサーモンと琴浦町産食材で、独自のメニューを考えました!</p> <p>○サケのぼりの製作</p> <p>○まるわかりBOOKの製作</p> 								
成果と課題	<b>【前年度課題の概要】</b> ① 新たな特産品を広く周知するため、PRが必要です。 <b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 町内の飲食店10店舗に協力いただき、18件の新メニュー開発を行いました。 ② 新メニューの開発発表会を開催し、多くのメディアに取り上げていただきました。 ③ 町内の全保育園では「さけのぼり」の製作、全小中学校では「まるわかりBOOK」の配布をし、明日を担う子ども達にサーモンを知っていただく機会を創出しました。 <b>【次年度に向けての課題】</b> ① 成魚の出荷にあわせ、効果的なPRを展開していく必要があります。								
	所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。
	評価点	10	7	3	3	3	5	妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	合計点	31	総合評価	B	新たな宝「とっとり琴浦グランサーモン」を全国に広めるため、継続すべき事業と考えます。			公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
								効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
								先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0
								A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	210	事業名	商工業の振興				会計区分	一般会計																																					
担当課	商工観光課		担当係	商工係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																						
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費																																				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					起債	一般財源	備考 (その他収入の内訳)																																			
			国庫支出金	県支出金	その他収入																																								
平成29年度	33,315	32,081	0	0	31,838	0	243	ふるさと未来夢基金 11,715千円																																					
平成29年度(明許)																																													
経費の内訳	需用費 495千円、委託料 925千円、負担金、補助及び交付金 28,601千円、その他 2,060千円																																												
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																																						
新規起業件数	件	目標	2	2	2	2	2																																						
		実績	1	1	2																																								
		達成率	50%	50%	100%	0%	0%																																						
育児休業取得事業 の利用件数	件	目標	5	5	5	5	5																																						
		実績	10	3	9																																								
		達成率	200%	60%	180%	0%	0%																																						
事業対象	町内事業所、町内で起業する移住者等																																												
事業目的	町内事業者に対して必要な施策を講じることにより、各社の自主的な努力を助長することで、町内の雇用の場の確保及び地域経済の活性化を図ります。																																												
事業の 主な 実施状況	① 企業支援策として以下の補助金、助成金を交付しました。																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金、交付金の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雇用促進奨励助成金</td> <td>18,600,000</td> <td>62件</td> <td>うち中部雇用内3件</td> </tr> <tr> <td>育児休業促進奨励金</td> <td>1,350,000</td> <td>9件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外の販路開拓事業補助金</td> <td>200,000</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IJUターン起業支援補助金</td> <td>1,000,000</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全国菓子大博覧会補助金</td> <td>100,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>商工会補助金</td> <td>6,500,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>労務改善協議会補助金</td> <td>280,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小規模事業者経営改善資金利子補給補助金</td> <td>551,254</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										補助金、交付金の名称	金額(円)	件数	備考	雇用促進奨励助成金	18,600,000	62件	うち中部雇用内3件	育児休業促進奨励金	1,350,000	9件		海外の販路開拓事業補助金	200,000	1件		IJUターン起業支援補助金	1,000,000	2件		全国菓子大博覧会補助金	100,000			商工会補助金	6,500,000			労務改善協議会補助金	280,000			小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	551,254	
補助金、交付金の名称	金額(円)	件数	備考																																										
雇用促進奨励助成金	18,600,000	62件	うち中部雇用内3件																																										
育児休業促進奨励金	1,350,000	9件																																											
海外の販路開拓事業補助金	200,000	1件																																											
IJUターン起業支援補助金	1,000,000	2件																																											
全国菓子大博覧会補助金	100,000																																												
商工会補助金	6,500,000																																												
労務改善協議会補助金	280,000																																												
小規模事業者経営改善資金利子補給補助金	551,254																																												
	② 琴浦町企業ガイドブックを作成しました。																																												
	③ 商工街路灯(105基)の維持管理を行いました。																																												
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b>																																												
	① 雇用情勢の変化に伴って、雇用促進のための施策から人材確保や定着に関する施策へと、方向転換が必要な時期に来ています。 ② 販路開拓など利用者が少数、固定化されています。																																												
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>																																												
① 町内企業の正規雇用の拡大や、子育て世帯の仕事と育児の両立支援を行い、働きやすい職場づくりを推進しました。 ② 新規学卒者及びIJUターンの方々の町内企業への就職促進のため、県内高校、大学、成人式、移住相談会等で企業ガイドブックを配布し、町内企業をPRしました。																																													
	<b>【次年度に向けての課題】</b>																																												
① 町内企業のニーズに合った施策の検討が必要です。 ② 商工街路灯の老朽化が進んでいるため、対応の検討が必要です。																																													
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																																			
	評価点	7	10	3	3	1	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																																			
	合計点	25	総合 評価	B	商工業の育成の強化、地域経済活性化を推進していく上で継続すべき事業です。施策内容等見直しを考えます。			公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																																			
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																																			
								効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0																																			
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0																																			
								A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																																					

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	1327	事業名	未来を拓く☆ことうら農・漁のまちづくり			会計区分	一般会計										
担当課	商工観光課		担当係	商工係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続										
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源										
平成29年度	6,974	6,915	2,783		3,500		632	地方創生推進交付金									
平成29年度(明許)																	
経費の内訳	委託料 6,000千円、旅費 350千円、補助金 394千円、その他 172千円																
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)										
ことうら商品の新規 契約件数	件	目標	1	1	1	1	3										
		実績	6	14	4												
		達成率	600%	1400%	400%	0%	0%										
事業対象	首都圏を中心とした県外のバイヤーや消費者等																
事業目的	『食のるつぽ琴浦』による町産品の発信と首都圏における販路開拓を進めることで、琴浦ブランド化を推進し、地域産業の競争力を高めます。																
事業の 主な 実施状況	<p>① ことうら商品販路開拓事業(委託料 6,000千円) 首都圏における販路開拓を大山乳業農協協同組合に委託、コーディネーターを通年で設置し、ことうら商品の販路開拓を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商談会等への参加</td> <td>10回/年間</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>ことうら商品新規取引成約件数</td> <td>3件/年間</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 食のるつぽ琴浦物産フェアの開催 2回目となる琴浦フェアを、9/1～2の2日間、東京新橋で開催しました。町内の6事業者が出店、約600人の来場者に琴浦町の特産品をPRすることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								項目	目標値	実績	商談会等への参加	10回/年間	20回	ことうら商品新規取引成約件数	3件/年間	4件
項目	目標値	実績															
商談会等への参加	10回/年間	20回															
ことうら商品新規取引成約件数	3件/年間	4件															
成果と 課題	<p><b>【前年度課題の概要】</b> ① 首都圏での物産フェアについて、バイヤーやベンダーなどに対する取組みを強化する必要があります。</p> <p><b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 27～29年度の3年間、大山乳業農業協同組合に「ことうら商品」の販路開拓を委託しました。物流等の課題はありますが、大手との契約が成立するなど関東での販路開拓が進みました。こうした取り組みから、今後も販路の拡大が見込めるとして、同社が関東に営業所を開設することとなりました。</p> <p><b>【次年度に向けての課題】</b> ① 東京での物産フェアは、労力がかかることや、人手不足により参画する事業者が減少しました。町内の事業者の負担とならないよう琴浦町にバイヤーを招聘する商談会の開催を計画します。</p>																
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10.7,3.0							
									妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10.7,3.0						
	評価点	7	3	3	5	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5.3,1.0							
									有効性	目標数値は達成できたか。	5.3,1.0						
合計点	24	総合 評価	C	大山乳業が独自で営業所を開設することに繋がり、成果があったと考えます。			効率性	コスト・人員効率はどうか。	5.3,1.0								
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5.3,1.0								
								A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止									

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	217	事業名	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業				会計区分	一般会計					
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源						
平成29年度	7,320	7,261	0	1,345	0	0	5,916						
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0						
経費の内訳	役員費 1,347千円、委託料 3,000千円、工事請負費 2,275千円、その他 639千円												
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)						
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9						
		実績	67.8	65.2	67.7								
		達成率	91%	83%	82%	0%	0%						
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260						
		実績	217	196									
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%						
事業対象	キャンプ場等の利用者												
事業目的	町民の観光レクリエーション活動の場を確保し、中山間地域の振興と活性化を図ります。												
事業の主な実施状況	① 一向平キャンプ場の管理運営を指定管理者制度により行いました。 指定管理者：一向平森林保全協会   ② 鳥取県中部ウォーキングコース旅行商品化整備事業を活用して施設整備を行いました。 ・駐車場コンクリート壁修繕工事 ・公衆トイレ洋式化工事												
成果と課題	<b>【前年度課題の概要】</b> ① 自然景観のほか食(一向そば、バーベキュー等)の情報なども広報素材として広める必要があります。												
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 前年度との観光入込客の比較 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>28年度</td> <td>7,201人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>8,766人</td> </tr> </table> ② 大山開山1300年祭のプレイヤーで、一向平キャンプ場においてもトレッキングを行うことで観光客に対してキャンプ場や大山滝を広くPRできました。									28年度	7,201人	29年度	8,766人
28年度	7,201人												
29年度	8,766人												
	<b>【次年度に向けての課題】</b> ① 大山滝の観光振興を含め一向平キャンプ場の施設のあり方の検討が必要です。												
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0			
	評価点	7	3	3	1	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0			
	合計点	16	総合評価	C	管理運営等について見直しを進めます。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止				

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	215	事業名	観光振興			会計区分	一般会計				
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源				
平成29年度	18,635	17,811	0	0	0	0	17,811				
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0				
経費の内訳	賃金 1,805千円、需用費 2,071千円、委託費 9,343千円、その他 4,592千円										
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)				
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9				
		実績	67.8	67.8	67.7						
		達成率	91%	86%	82%	0%	0%				
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260				
		実績	217	196							
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%				
事業対象	一般観光客										
事業目的	観光振興により交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。										
事業の 主な 実施状況	① 琴浦グルメめぐるウォークを実施しました。 大山開山1300年祭イベントとして位置づけ、大山滝にスポットをあてて開催しました。 日時 平成29年9月23日(土) 場所 東伯総合公園(琴ノ浦・大山滝コース)										
											
成果と 課題	② 観光情報発信業務 町の観光情報発信業務を観光協会に委託し、交流人口の増加・地域経済の活性化を図りました。 道の駅「琴の浦」観光窓口での案内業務を開始しました。										
	<b>【前年度課題の概要】</b> ① さらなる観光入込客数をめし、交流人口の増加、地域経済の活性化を図ります。 ⇒道の駅「琴の浦」での観光窓口などを活用し、情報発信の強化を図ります。 ② 観光振興による町全体が潤う仕組みの構築を図ります。 ⇒観光協会等と連携し、琴浦グルメの発信強化や着地型観光メニューの創出を図ります。										
所管課の 評価	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 道の駅「琴の浦」での観光窓口などを活用し、情報発信を強化したため観光客が増加しました。 年間観光入込客										
	<table border="1"> <tr> <td>28年度</td> <td>650,079人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>677,505人</td> </tr> </table>								28年度	650,079人	29年度
28年度	650,079人										
29年度	677,505人										
評価項目	<b>【次年度に向けての課題】</b> ① 道の駅「琴の浦」のスマートインター化を活かして交流人口の増加を目指す。										
	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0		
評価点	7	3	5	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0		
合計点	24	総合評価	B	道の駅「琴の浦」を情報発信の新たな拠点とすることあわせ、観光振興施策の改善を行い、町内全体の交流人口の増加を目指します。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止				

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	1142	事業名	旧中井旅館管理運営事業			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源		
平成29年度	158	122	0	0	36	0	86	使用料	
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
経費の内訳	需用費 9千円、役務費 53千円、賃借料 60千円								
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)		
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9		
		実績	67.8	65.2	67.7				
		達成率	91%	83%	82%	0%	0%		
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260		
		実績	217	196					
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%		
事業対象	地域住民及び観光客								
事業目的	地域住民の交流促進及び観光振興を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 施設の維持管理、運営を行いました。								
	利用者数								
	28年度	1,644人(うち観光目的は113人)							
	29年度	1,686人(うち観光目的は856人)							
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b>								
	① 観光目的での利用者増のための取り組みが必要です。								
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>								
	① 町事業による定期利用(つながり茶屋ことうら)が29年11月以降、別施設での開催となりました。 一方で、観光ツアー商品での利用が増えたため、全体の利用者数は前年度と比べて増加しました。 * 観光ツアー商品による団体受入 23回								
<b>【次年度に向けての課題】</b>									
② 観光ツアーでの利用が増えているため、清掃が行き届かなくなっています。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
								行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	7	3	1	1	1	1	公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
	合計点	14	総合 評価	C	維持管理方法等について見直しを進めます。				有効性 目標数値は達成できたか。
								効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
								先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0
								A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	411	事業名	船上山さくら祭り運営事業				会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	1,557	1,557	0	0	1,500	0	57	ふるさと未来夢基金1,500千円		
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0			
経費の内訳	補助金 1,557千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし		目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	地域住民									
事業目的	住民参加による船上山さくら祭りの運営支援を行い、まちの活性化を図るとともに、本町の観光振興を推進します。									
事業の主な実施状況	① 実行委員会により第26回船上山さくら祭りが実施されました。 開催日 平成29年4月23日(日) 会場 船上山万本桜公園 来場者 2,341人 									
成果と課題	<p><b>【前年度課題の概要】</b></p> ① 来場者の駐車場が不足しているために対策が必要です。 ② 地域住民の参画、協働を進める取り組みが必要です。 <p><b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b></p> ① 芸能発表では、町内の9団体が出演し、地域の活動に触れる機会となりました。 ② キャラクターショーに変わり、町民の芸能発表を充実しました。 これにより、駐車場不足等のトラブルが激減しました。 <p><b>【次年度に向けての課題】</b></p> ① 地域住民の参画を促す取り組みの検討が必要です。									
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
	評価点	7	3	3	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	20	総合評価	C	運営、内容等の見直しを継続して行います。					A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	407	事業名	船上山管理運営			会計区分	一般会計				
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源				
平成29年度	4,207	4,064	0	0	4,063	0	1	基金繰入金250千円 ふるさと未来夢基金3,813			
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0				
経費の内訳	役務費 454千円、委託料 3,581千円、その他 29千円										
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)				
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9				
		実績	67.8	65.2	67.7						
		達成率	91%	83%	82%	0%	0%				
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260				
		実績	217	196							
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%				
事業対象	町民、観光客等										
事業目的	町内観光地の更なる誘客につなげます。										
事業の主な実施状況	① 船上山山焼き 3年に1度の山焼きを行いました。										
	② 万本桜公園内さくらの適切な維持管理を行いました。										
	③ 周辺の清掃や整備を行いました。										
成果と課題	<b>【前年度課題の概要】</b>										
	① 大山開山1300年祭に向け、今後人数の増加が予想されることから、利用者に気持ちよくご利用いただけるよう、適正な登山道整備・トイレ美化清掃が必要です。										
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>										
	利用者数 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 10px;"> <tr> <td>28年度</td> <td>23,263人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>23,645人</td> </tr> </table> ※船上山少年自然の家利用者数 大山開山1300年祭の前年あたり、また「山の日」記念全国大会開催に向けたPRもあり観光客が前年度と比較して増加したと考えられます。								28年度	23,263人	29年度
28年度	23,263人										
29年度	23,645人										
<b>【次年度に向けての課題】</b>											
① 大山開山1300年祭・山の日大会とタイアップしながら船上山のPRを図ります。 ② 船上山周辺でのトレッキングイベントを開催し、観光客の誘客を図ります。											
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0		
								妥当性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0		
								公平性 受益者の偏りはないか。	5,3,1,0		
	評価点	7	7	3	1	1	1	有効性 目標数値は達成できたか。	5,3,1,0		
								効率性 コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0		
								先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0		
合計点	20	総合評価		C	維持管理が主な業務であり、見直し等を進めます。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止			

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	1395	事業名	観光振興			会計区分	一般会計			
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	4,984	4,984	2,442	0	2,400	0	42	地方創生推進交付金		
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0			
経費の内訳	負担金、補助及び交付金 4,984千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9			
		実績	67.8	67.8	67.7					
		達成率	91%	86%	82%	0%	0%			
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260			
		実績	217	196						
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%			
事業対象	一般観光客									
事業目的	観光振興により交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。									
事業の 主な 実施状況	① 『大山開山1300年祭』ウォーキングトレッキング活用事業負担金 大山開山1300年祭事業として、東大山古道トレッキング大山滝トレイルを10月21日に開催しました。									
										
	② 広域観光連携推進事業負担金(中部ふるさと広域連合)									
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b>									
	① 県中部の市町が協力と連携を強化し、更なる観光客増に取り組みます。									
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>									
	鳥取中部観光推進機構への委託事業による町内での効果 ・旅行エージェントへの継続的なプロモーションにより、本町ではツアー商品の利用客が増加しました。 ・コスプレ受入コンシェルジュを活用し、町内施設の利用申込みがありました。									
	<b>【次年度に向けての課題】</b>									
	山陰DCやフラ・フェスティバルを活用しながら、広域観光の推進を図ります。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	7	3	5	3	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
									有効性	目標数値は達成できたか。
								効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0
	合計点	24	総合 評価	B	広域観光について継続して取り組みが必要です。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	408	事業名	道の駅ポート赤碕運営管理				会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	3,867	3,784	0	0	2,536	0	1,248	使用料		
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0			
経費の内訳	賃金 1,078千円、負担金・補助金及び交付金 2,155千円、その他 551千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9			
		実績	67.8	65.2	67.7					
		達成率	91%	83%	82%	0%	0%			
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260			
		実績	217	196						
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%			
事業対象	施設利用者									
事業目的	観光情報の発信及び地域特産品の紹介を通して、観光振興及び地域の活性化を図ります。									
事業の 主な 実施状況	① 道の駅施設のトイレ清掃など適切な維持管理を行いました。									
										
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b> ① 山陰道からの誘客方法の形成が必要です。									
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① デジタルスタンプラリーの参加など、道の駅の情報発信を行いました。 道の駅ポート赤碕 入込客数 301,124人									
	<b>【次年度に向けての課題】</b> ① 道の駅「琴の浦」のスマートインター化を活かして、ポート赤碕への交流人口の増加を目指します。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	10	0	5	3	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	22	総合 評価	B	施設管理のあり方について検討を行います。				効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	1079	事業名	道の駅琴の浦管理運営事業				会計区分	一般財源		
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	21,593	21,324	0	0	12,943	8,800	11,698	使用料		
平成29年度(明許)	13,276	12,117	0	0	0	0	0			
経費の内訳	需用費 13,430千円、役務費 1,729千円、委託料 5,559千円、その他 606千円 (工事請負費 1,540千円、備品購入費 793千円、負担金 9,784千円)									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
年間観光入込客数	万人	目標	74.8	78.6	82.5	86.6	90.9			
		実績	67.8	65.2	67.7					
		達成率	91%	83%	82%	0%	0%			
県中部観光入込客数	万人	目標	220	230	240	250	260			
		実績	217	196						
		達成率	99%	85%	0%	0%	0%			
事業対象	施設利用者									
事業目的	観光情報の発信及び地域特産品の紹介を通して、観光振興及び地域の活性化を図ります。									
事業の主な実施状況	① 4月にリニューアルオープンした道の駅「琴の浦」オープン記念式典を開催しました。 町観光協会を道の駅内に移設しました。 テナントによりオープン記念セールが開催されました。									
	② 施設の維持管理を適切に行いました。 公衆トイレの清掃回数を1日1回から2回へ改善しました。									
	③ 道の駅のロゴを作成し、物産館ことうらの塔屋にライトアップ看板を設置しました。									
成果と課題	<b>【前年度課題の概要】</b>									
	① 観光窓口を活用したグルメのまちとしての認知度の向上 ⇒物産館ことうら各店舗を主体とした商品開発と広報の充実 ② 民間活力導入のための道の駅の管理運営の委託 ⇒観光協会等への委託することによるイベント等の実施 ③ 国道9号と山陰道の接続による2つの道の駅の連携強化 ⇒接続へ向けた関係機関との連携強化									
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>									
	道の駅登録による認知度アップが図られました。 各種観光マップやカーナビなどへの対応等 周辺の再整備による集客増が見込まれます。									
	<b>【次年度に向けての課題】</b>									
	道の駅「琴の浦」のスマートインター化を活かして交流人口の増加を目指します。									
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
		妥当性						行政必須か、委託の可能性は。		10,7,3,0
		公平性						受益者の偏りはないか。		5,3,1,0
		有効性						目標数値は達成できたか。		5,3,1,0
評価点	10	7	3	1	3	3	効率性	コスト・人員効率はどうか。		5,3,1,0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。		5,3,1,0
合計点	27	総合評価	B	観光・商工振興を推進する上で継続すべき事業である。情報発信の拠点としての活用方法が最重要課題であり、先駆的な取組みを検討する必要があります。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	35	事業名	白鳳祭			会計区分	一般会計			
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	3,720	3,719	0	0	3,500	0	219	ふるさと未来夢基金3,500千円		
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0			
経費の内訳	補助金 3,719千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
設定なし		目標								
		実績								
		達成率								
事業対象	地域住民									
事業目的	住民参加による白鳳祭の運営支援を行うことで、まちの活性化を図ります。									
事業の 主な 実施状況	<p>① 白鳳祭実行委員会により第27回白鳳祭が実施されました。          開催日 平成29年8月6日          会場 東伯総合公園</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>									
成果と 課題	<p><b>【前年度課題の概要】</b></p> <p>① 地域住民の参画、協働を進める取り組みが必要です。          ② 会場周辺の交通渋滞が年々悪化しているため、対策が必要です。</p> <p><b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b></p> <p>① 町内の地域団体等により過去最高の30店舗が出店し、多くの来場者でにぎわいました。          ② 下記の取り組みを行うことで、渋滞が緩和されました。          ・会場周辺の一部駐車場を利用制限          ・会場内一方通行の徹底</p> <p><b>【次年度に向けての課題】</b></p> <p>① 自ら実施、運営に携わる住民の参画を促す体制づくりが必要です。</p>									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
	評価点	7	3	5	5	5	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	26	総合 評価	C	運営、内容等の見直しを継続して行います。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	23	事業名	きらりタウン・槻下団地定住促進事業			会計区分	一般会計																										
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																										
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																										
平成29年度	3,250	3,234					3,234																										
平成29年度(明許)																																	
経費の内訳	負担金、補助及び交付金 3,000千円、その他 234千円																																
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																										
きらりタウン販売区 画数	区画	目標	5	5	5	5	5																										
		実績	2	9	4																												
		達成率	40%	180%	80%	0%	0%																										
事業対象	きらりタウン赤碕・槻下住宅団地への入居者等																																
事業目的	きらりタウン赤碕と槻下住宅団地の分譲を促進します。																																
事業の 主な 実施状況	① 販売促進の取組みとして、以下の謝礼金、奨励金を交付しました。																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>謝礼金、奨励金の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>きらりタウン赤碕定住促進謝礼金</td> <td>200,000</td> <td>2件</td> <td>町内建築業者</td> </tr> <tr> <td>きらりタウン赤碕定住促進奨励金</td> <td>2,400,000</td> <td>4件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>槻下住宅団地定住促進奨励金</td> <td>600,000</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								謝礼金、奨励金の名称	金額(円)	件数	備考	きらりタウン赤碕定住促進謝礼金	200,000	2件	町内建築業者	きらりタウン赤碕定住促進奨励金	2,400,000	4件		槻下住宅団地定住促進奨励金	600,000	2件										
	謝礼金、奨励金の名称	金額(円)	件数	備考																													
	きらりタウン赤碕定住促進謝礼金	200,000	2件	町内建築業者																													
きらりタウン赤碕定住促進奨励金	2,400,000	4件																															
槻下住宅団地定住促進奨励金	600,000	2件																															
きらりタウン赤碕販売状況																																	
<table border="1"> <tr> <td>総区画</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>販売区画</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>残区画</td> <td>47</td> </tr> </table>		総区画	174	販売区画	127	残区画	47	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>総数</th> <th>内県外</th> <th>内町外</th> <th>内町内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>						年度	総数	内県外	内町外	内町内	H27	8	3	1	4	H28	9	0	1	8	H29	4	0	0	4
総区画	174																																
販売区画	127																																
残区画	47																																
年度	総数	内県外	内町外	内町内																													
H27	8	3	1	4																													
H28	9	0	1	8																													
H29	4	0	0	4																													
② 団地をPRするため、鳥取県住宅供給公社と共同で販売促進チラシを3,500部作成し、鳥取県ファンクラブの方々に配布しました。																																	
																																	
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b>																																
	① 現在も約4分の1の区画が残っており、継続した販売の促進が必要です。																																
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>																																
① 定期借地権付土地制度を導入してからは、継続的に販売できています。																																	
<b>【次年度に向けての課題】</b>																																	
① 分譲を促進するための建築業者への謝礼金は、期待する効果がみられないため、見直しが必要です。																																	
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																								
		妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性・独創性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																									
	評価点	7	10	1	3	3	1	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																								
								目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																								
合計点	25	総合評価	B	毎年確実に売れ続けています。継続した取組みが必要だと考えています。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																									

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	1137	事業名	コトウラ暮らしお試し滞在住宅事業			会計区分	一般会計										
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続										
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)								
		国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源											
平成29年度	695	474			7		467	利用料									
平成29年度(明許)																	
経費の内訳	需用費 160千円、役務費 134千円、その他 181千円																
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)										
利用者数	人	目標	10	10	10	10	10										
		実績	9	12	3												
		達成率	90%	120%	30%	0%	0%										
事業対象	移住希望者																
事業目的	移住を検討されている方に、町内での生活を体験していただくため、お試し住宅を運営します。																
事業の 主な 実施状況	① お試し住宅で、琴浦町の暮らしを体験していただきました。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>利用期間</th> <th>人数</th> <th>利用者住所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/21~4/23</td> <td>2泊3日</td> <td>3人</td> <td>滋賀県大津市</td> </tr> </tbody> </table>									利用期間	人数	利用者住所	備考	4/21~4/23	2泊3日	3人	滋賀県大津市
	利用期間	人数	利用者住所	備考													
4/21~4/23	2泊3日	3人	滋賀県大津市														
 																	
	② 10月28日~29日に行った移住定住ツアーでは、お試し住宅を会場に、ツアー参加者と地元の方との交流会を開催しました。																
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b> ① 観光目的やホテル代わりに利用されることが全国的に問題となっています。																
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 利用は1件3人と少なく、移住へも繋がりませんでした。 ② 利用の問合せ時に、移住計画等を聞き取ろうとすると、申込みを辞退されるケースもありました。																
	<b>【次年度に向けての課題】</b> ① 利用を2泊以上としていますが、近隣の県からは1泊での利用希望もあるため、見直しを検討します。今年度は、利用者が少なかったため、県外での移住相談会などでの積極的なPRに努めます。																
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0								
	評価点	3	7	1	1	3	1	妥当性 公平性 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 5,3,1,0								
	合計点	16	総合 評価	B	積極的なPRに努め、有効活用をしていきたいと考えます。			有効性 効率性 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0								
A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	902	事業名	移住定住促進事業				会計区分	一般会計												
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続													
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源													
平成29年度	4,913	3,250		465			2,785	鳥取県移住定住推進交付金												
平成29年度(明許)																				
経費の内訳	負担金、補助及び交付金 2,990千円、その他旅費等 261千円																			
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)													
社会増減数	人	目標	-40	-40	-40	-40	-40													
		実績	-98	-9	-34															
		達成率	41%	444%	118%	#DIV/0!														
事業対象	移住希望者・定住者																			
事業目的	人口減少対策の一環として、町外からの移住者を増やすとともに、定住の促進を図ります。																			
事業の 主な 実施状況	① 移住の推進及び空き家の有効活用を図るため、以下の補助金、交付金を交付しました。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金、交付金の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移住定住促進リフォーム事業補助金</td> <td>1,500,000</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空き家情報登録制度を利用した 移住定住奨励金</td> <td>1,490,000</td> <td>3件分</td> <td>移住者 空き家提供者 自治会</td> </tr> </tbody> </table>									補助金、交付金の名称	金額(円)	件数	備考	移住定住促進リフォーム事業補助金	1,500,000	3件		空き家情報登録制度を利用した 移住定住奨励金	1,490,000	3件分
補助金、交付金の名称	金額(円)	件数	備考																	
移住定住促進リフォーム事業補助金	1,500,000	3件																		
空き家情報登録制度を利用した 移住定住奨励金	1,490,000	3件分	移住者 空き家提供者 自治会																	
事業の 主な 実施状況	(改修前)  (改修後) 																			
	② 県外での移住相談会に参画し、移住に関する相談を受けました。																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>相談会の名称</th> <th>旅費、プース代</th> <th>相談件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県IJUターンBIG相談会In東京ほか1回</td> <td>155,980</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取県IJUターンBIG相談会in大阪ほか3回</td> <td>104,830</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									相談会の名称	旅費、プース代	相談件数	備考	鳥取県IJUターンBIG相談会In東京ほか1回	155,980	6		鳥取県IJUターンBIG相談会in大阪ほか3回	104,830	13	
相談会の名称	旅費、プース代	相談件数	備考																	
鳥取県IJUターンBIG相談会In東京ほか1回	155,980	6																		
鳥取県IJUターンBIG相談会in大阪ほか3回	104,830	13																		
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b> ① 転出者の減少により、社会動態による人口減少は緩和されつつありますが、依然、町全体の人口減少に歯止めがかからない状況です。																			
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 今年度の県外からの移住者は、128人(101世帯)で、県内第5位の移住状況でした。 ② 今年度は、移住定住アドバイザーを募集しても応募がなく、不在であったことから、移住相談者に対し、アフターフォローができませんでした。																			
成果と 課題	<b>【次年度に向けての課題】</b> ① 移住に関する自治体間競争が激化しており、都市圏等からの移住者を増やすことが容易でないため、Uターンに特化した支援制度など、特色ある移住施策が必要です。																			
	所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	住民ニーズ、事業の必要性は。 10,7,3,0 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 他の見本となりえるか。 5,3,1,0										
所管課の評価	合計点	30	総合評価	B	人口減少は、町の最重要課題であり、継続した取組 みが必要であると考えます。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止											

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	414	事業名	交流ネットワーク事業				会計区分	一般会計																						
担当課	商工観光課			担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																						
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費																					
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																					
		国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																								
平成29年度	984	867						867																						
平成29年度(明許)																														
経費の内訳	需用費 209千円、使用料及び賃借料 201千円、旅費 178千円、その他 279千円																													
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																							
設定なし		目標																												
		実績																												
		達成率																												
事業対象	琴浦町出身の県外在住者																													
事業目的	出身者で組織する琴浦会を運営することにより、関係人口を増やし、会員相互の交流のほか、情報交換を行うことによって、町の活性化に繋がります。																													
事業の 主な 実施状況	① 東日本、西日本地区において、それぞれ交流会を開催しました。																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>東日本地区</th> <th>西日本地区</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数</td> <td>48</td> <td>68</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>平成29年4月8日</td> <td>平成29年11月26日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>渋谷区 水交会</td> <td>大阪新阪急ホテル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>44</td> <td>60</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table>											東日本地区	西日本地区	合計	会員数	48	68	116	日時	平成29年4月8日	平成29年11月26日		場所	渋谷区 水交会	大阪新阪急ホテル		参加者数	44	60	104
		東日本地区	西日本地区	合計																										
会員数	48	68	116																											
日時	平成29年4月8日	平成29年11月26日																												
場所	渋谷区 水交会	大阪新阪急ホテル																												
参加者数	44	60	104																											
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																														
② 町のホットな情報を琴浦会事務局だよりとして発行、町報とともに琴浦会の会員へ毎月発送しました。																														
③ 町の特産品を、「琴浦三味ふるさと便」として詰め合わせ、販売しました。																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>琴浦Aセット</th> <th>琴浦Bセット</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年度(14回目)</td> <td>275</td> <td>220</td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>28年度(15回目)</td> <td>229</td> <td>263</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td>29年度(16回目)</td> <td>175</td> <td>231</td> <td>406</td> </tr> </tbody> </table>										年度	琴浦Aセット	琴浦Bセット	合計	27年度(14回目)	275	220	495	28年度(15回目)	229	263	492	29年度(16回目)	175	231	406					
年度	琴浦Aセット	琴浦Bセット	合計																											
27年度(14回目)	275	220	495																											
28年度(15回目)	229	263	492																											
29年度(16回目)	175	231	406																											
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b>																													
	① 琴浦会は、新規加入以上に、高齢を理由とした退会が多いため、毎年会員が減少しています。 ② 琴浦三味ふるさと便は、年々販売件数が減少しています。																													
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>																													
	① 琴浦三味ふるさと便は、関係事業者と協議の結果、29年度をもって事業廃止しました。																													
<b>【次年度に向けての課題】</b>																														
① 将来の琴浦会を担っていただくため、琴浦町出身の若者を対象としたネットワークづくりが必要です。																														
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																				
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																				
	評価点	7	10	3	0	3	1	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																				
									有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																			
合計点	24	総合評価	B	移住せずとも地域に協力する関係人口が着目されており、継続した取組みが必要と考えます。				効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0																				
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0	A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																				

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	38	事業名	公共交通対策			会計区分	一般会計			
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
		国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源				
平成29年度	60,242	59,988			12,907	7,278		39,803		
平成29年度(明許)	0	0								
経費の内訳	報償費 16千円、需用費 192千円、役務費 19千円、委託料 49,165千円、借上料 352千円、負担金、補助及び交付金 10,244千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
バス利用者数	人	目標	80,000	80,000	80,000					
		実績	87,144	78,979	75,232					
		達成率	109%	99%	94%	#DIV/0!	#DIV/0!			
事業対象	琴浦町民									
事業目的	町民の日常生活に必要な交通手段の確保を図ります。									
事業の 主な 実施状況	① 路線バスの運行を次のとおり行いました。									
	形態	町営バス				デマンド型乗合タクシー				
	路線	東伯線(上法万線・野井倉線・福永線) 琴浦海岸線 船上山線				上中村線				
	車両	58人乗バス 3台 38人乗バス 1台 26人乗バス 1台				タクシー車両				
	委託先	日ノ丸自動車(株)				日本交通(株)				
	利用料	100円/1乗車(未就学児は無料)								
② 広域バス路線(赤碕⇄倉吉)運行に係る支援を行いました。										
③ 交通空白地域を対象にタクシー利用料金の助成を行いました。										
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b> バス車両が老朽化しています。									
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>									
	① 町営バス等利用者数		75,232 人							
	② タクシー利用助成件数		686 人							
<b>【次年度に向けての課題】</b> バス車両の老朽化が大きな課題です。 バス運転手の不足対策、過密ダイヤの見直しが必要です。										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10.7,3.0
	評価点	7	5	1	3	0	0	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10.7,3.0
								公平性	受益者の偏りはないか。	5.3,1.0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5.3,1.0
合計点	16	総合評価	C	運行形態等見直しを継続して進めます。					A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	20	事業名	国際交流の推進			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源		
平成29年度	3,132	3,005					3,005		
平成29年度(明許)									
経費の内訳	報酬 2,368千円、負担金、補助及び交付金 485千円、その他 152千円								
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)		
設定なし		目標							
		実績							
		達成率							
事業対象	町民								
事業目的	国際交流を推進することにより、多様な文化・生活様式の違いに理解のあるまちづくりを目指します。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 国際交流を推進するため、国際交流コーディネーターを設置し、以下の活動をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○韓国アカデミーの開催(10回)</li> <li>○韓国語講座の講師(毎週火曜日)</li> <li>○通訳等の派遣(年間13件)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・北東アジア地方政府サミット(鳥取県)</li> <li>・韓国の家庭料理(赤碕男の料理教室)</li> <li>・日韓レスリング交流(県レスリング協会)</li> <li>・町内小学校での講師 など</li> </ul> </li> </ul> <p>② 町国際交流協会に対し、以下の補助金を交付し、活動を支援しました。</p>								
				補助金名称		金額(円)	備考		
			琴浦町国際交流協会補助金		100,000	運営、活動への補助金			
			国際交流協会交流20周年記念大韓民国江原道麟蹄郡訪問事業補助金		100,000	訪問期間 10/21~23 参加者 5名			
									
成果と 課題	<p><b>【前年度課題の概要】</b></p> <p>① 町民の国際意識の高揚を図るため、民間主体による国際交流を推進していく必要があります。</p> <p><b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b></p> <p>① 民間主体による国際交流を推進するため、交流20周年を記念して国際交流協会が実施した訪問事業を支援しました。</p> <p>② 日韓友好資料館の来館者数増加と韓国の文化を広く知っていただくことを目的として、国際交流コーディネーターによる韓国文化教室を年に10回開催しました。</p> <p>③ 北朝鮮のミサイル問題によって緊張が高まり、麟蹄郡ファンテ祭りの訪問は中止しました。</p> <p><b>【次年度に向けての課題】</b></p> <p>① 民間による国際交流を推進するための施策を検討する必要があります。</p>								
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10,7,3,0 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0 有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0	
	評価点	7	3	1	0	3	1		
	合計点	15	総合評価	C	都会ほど顕著ではないものの、来町する外国人は増加しており、多文化共生社会への推進が必要となっています。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止	

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	26	事業名	三本杉ふるさと分校管理			会計区分	一般会計						
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源						
平成29年度	70	69	0	0	0	0	69						
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0						
経費の内訳	役員費 43千円、その他 26千円												
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)						
設定なし		目標											
		実績											
		達成率											
事業対象	主として古布庄南部地区住民(三本杉ふるさと分校管理委員会)												
事業目的	地域住民の交流等を図ります。												
事業の 主な 実施状況	① 指定管理者制度により施設の適切な管理運営を行いました。 指定管理者:三本杉ふるさと分校管理委員会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>												
成果と 課題	<p><b>【前年度課題の概要】</b></p> ① 施設の老朽化に伴う修繕が懸念されます。 <p><b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b></p> ① 古布庄地域住民の地域活動等にご利用いただきました。 施設利用者数												
	<table border="1"> <tr> <td>28年度</td> <td>1,308人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>1,157人</td> </tr> </table>		28年度	1,308人	29年度	1,157人							
28年度	1,308人												
29年度	1,157人												
	<p><b>【次年度に向けての課題】</b></p> ① 将来的な施設のあり方について検討が必要です。												
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0			
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0			
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0			
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0			
	評価点	7	0	0	3	3	1	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0			
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0			
	合計点	14	総合 評価	D	施設のあり方について方針を検討する必要があります。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止				

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	415	事業名	日韓友好交流公園管理運営				会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	地域振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	5,632	5,369	0	198	0	0	5,171	県負担金 198千円		
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0			
経費の内訳	賃金 2,223千円、需用費 767千円、役務費 226千円、委託料 819千円 工事請負費 972千円、負担金、補助及び交付金 362千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
年間来場者数	人	目標	12,000	12,000	12,000					
		実績	11,341	9,924	9,100					
		達成率	95%	83%	76%	#DIV/0!	#DIV/0!			
事業対象	住民及び観光客等									
事業目的	鳥取県と江原道との交流の歴史などを広く紹介します。									
事業の 主な 実施状況	① 施設の維持管理を行いました。 ② 日韓文化交流促進ウィークに合わせて、交流写真展を開催しました。 期日 10月5日～12日 内容 交流写真展(東伯中学校と麟蹄郡新南中学校) 第10回シウォレマダニinとっとり(民団主催) ③ 琴浦町国際交流協会麟蹄郡訪問写真展の開催 11月 ④ 国際交流コーディネーターによる韓国アカデミーを開催しました。									
	 <p align="right">韓国アカデミーの様子</p>									
成果と 課題	<p><b>【前年度課題の概要】</b> 年々、来館者数が減少しています。</p> <p><b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> 町内の国際交流活動をPRするための写真展を開催しました。 韓国アカデミーを月1回程度実施しました。 これらの取り組みにより、地域の方の国際意識の高揚に寄与しました。</p> <p><b>【次年度に向けての課題】</b> 展示内容の見直しの時期にきています。</p>									
所管課 の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10.7.3.0
	評価点	3	3	1	1	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10.7.3.0
								公平性	受益者の偏りはないか。	5.3.1.0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5.3.1.0
合計点	12	総合 評価	C	管理運営について見直しを行います。				効率性	コスト・人員効率はどうか。	5.3.1.0
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5.3.1.0
										A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止

**平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書**

事業番号	25	事業名	八橋ふれあいセンター管理				会計区分						
担当課	商工観光課		担当係	観光係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源						
平成29年度	630	605	0	0	0	0	0						
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0						
経費の内訳	委託料 481千円、その他 124千円												
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)						
設定なし		目標											
		実績											
		達成率											
事業対象	主として八橋住民(やばせ振興魁の会)												
事業目的	地域住民の交流等を図ります。また、八橋駅待合所としても利用されています。												
事業の 主な 実施状況	①指定管理者制度により、駅トイレの清掃、施設の運営などを行いました。 指定管理者:八橋振興魁の会 												
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b> ① 施設の修繕等が懸念されます。  <b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b> ① 施設利用のPRを行い、利用者の増加につながりました。 施設利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>28年度</td> <td>1,877人</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>4,208人</td> </tr> </table> <b>【次年度に向けての課題】</b> ① 今後の施設のあり方について検討が必要です。									28年度	1,877人	29年度	4,208人
28年度	1,877人												
29年度	4,208人												
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0			
	評価点	7	0	0	3	3	1	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0			
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0			
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0			
合計点	14	総合 評価	D	施設のあり方について方針を検討する必要があります。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止					

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	873	事業名	企業誘致推進事業				会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	商工係		事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	5	企業誘致推進費	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	200	111	0	0	0	0	111			
平成29年度(明許)										
経費の内訳	需用費 100千円、その他 12千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
新規企業の誘致	件	目標	1	1	0					
		実績	0	1	0					
		達成率	0%	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
事業対象	県外の企業、関係団体等									
事業目的	県外から企業を誘致することにより、町内の雇用の場の拡大を目指します。									
事業の 主な 実施状況	<p>① 支援制度や町の統計情報等を更新した企業立地パンフレットを250部増刷しました。</p> <p>平成28年8月に誘致した、鳥取林養魚場(パンフレットから抜粋)</p> <hr/> <p><b>株式会社鳥取林養魚場</b> 〒689-2502 東伯郡琴浦町大字別所 1128 TEL.0858-27-1190</p> <p>株式会社鳥取林養魚場は、琴浦町に本社を置くサーモン養殖の会社です。国内大手である株式会社林養魚場の子会社であり、グループ内で最大の生産設備を持つ、世界的にも最先端の養魚場です。福島県にある親会社では、平成10年に発生した大水害や平成23年に発生した東日本大震災などの天災被害に見舞われ、またその後の風評被害にも影響を受けるなど、問題を抱えており、リスク分散の観点から新たな候補地を探していました。琴浦町は、生産魚の運搬について便利である事、特に良質な水が湧き出ている事、災害リスクが低い事等、多くの点で立地条件が良いため、進出することを決めました。平成29年10月には、県と町からの支援を受け、日本初となる産業スケールの「循環濾過養殖システム(RAS)」を導入した本社工場が竣工し、ゲンザケの養殖を順調にスタートしております。</p> <p>今後は、海外への販売も視野に入れた「とっとり琴浦グランサーモン」のブランド化に取組み、琴浦町を「サーモンの発信地にする!」を目標に日々邁進しております。</p>									
										
成果と 課題	<b>【前年度課題の概要】</b>									
	① 雇用の場の拡大のため、企業誘致に取り組んできましたが、現在は有効求人倍率が高く、人材の不足の方が深刻な課題と変化してきています。									
	<b>【成果及び前年度課題に対する対応】</b>									
	① 深刻な人手不足の現状から、企業誘致は一旦休止をし、町内企業の増設等を支援します。									
<b>【次年度に向けての課題】</b>										
① 人材確保のための取組みが必要となっています。										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0	
		妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0						
	評価点	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0						
		有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0						
合計点	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0							
	先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0							
総合評価	25	E	人手不足の間は休止とし、雇用情勢に合わせて取組みの再開を検討していきます。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止			